令和7年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立宮前小学校
作成日	令和 8年 3月 7日

1 教育目標

健・心・知の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力学習状況調査及び児童質問紙 ・県学習到達度調査	・学校評価アンケート ・いじめアンケート	・スポーツテスト ・保健室来室状況調査 ・学校評価アンケート	・学校評価アンケート ・学校運営協議会 ・宮前地区子供を育てる協議会
重点目標に対する意見	・指導方法の工夫改善を図り、基礎学力の向上を進めることを今後もしっかりと進めていただきたい。 ・読書活動の更なる推進や大きな意味での学力・生きる力をつけていただきたい。	・人権教育の根幹である人権意識の高揚に、各教科学習や道徳、同和人権総合学習等の授業を通して努めていただくことは、大変重要であると思う。 ・学校が示す豊かな体験活動や地域学習の推進を期待します。	・継続的な取り組みをお願いしたい。 ・外遊びを奨励し、体力向上を願う。	・学校の様々な教育活動を詳しく知らせていただくことは、学校の様子がよく分かり、とても有意義だと思う。 ・保幼小接続は熱心な取組になっている。今後も楽しいふれあいになっていってほしい。
取組状況に対する意見	・国語科・算数科の教科学習を重点的な教科として取り組むことは基礎学力をつける上で大切である。帯の時間として設定している朝読書や昼学の推進はとても有意義だと思う。	・芸術に触れる機会や様々な体験的学習の多用は、子どもの感性を高める取り組みとしても大切だと思う。 ・あいさつ、掃除がいきとどいていて、時間を守ってきびきび行動できていた。	・休憩時間に先生たちが子供と一緒に遊んでいる姿が素晴らしい。 ・健全な体の育成のため、運動や睡眠、食事等総合的に取り組み、欠席者数を減らすように意識し、家庭の協力をえられるように模索してほしい。	・授業参観や教育講演会、学級通信、『みやまえナビ』、回覧版、ホームページ等で子供の活動状況を広く伝えてくれていた。 ・地区懇談会では、グループ協議を取り入れることで、参加したみんなが自分の思いや感想を話し合えることができ、大変有意義であった。
取組の適切さの検証結果に対する意見	・基礎基本の学力定着の徹底を頑張ってやってほしい。 そのためにも、一人一人に考えさせる授業に取り組んでいただきたい。また、機会をとらえ書く活動を多く取り入れてほしい	・芸術に触れる機会や様々な体験的学習を多用して、子供の感性を高める取り組みは大切だと思う。 普段、体験できない家庭が多く、教育の機会均等という意味で、学校教育におけるウェイトは高くなる。	・体力も高まってきたようだ。さらなる向上を目指して欲しい。 ・運動に関して好き嫌いが2極化していないか心配だ。	・学校評価アンケートの結果で調査項目の好意的反応が低い項目については重点的に指導をしていただきたい。 ・学校評価アンケート結果の保護者の結果から、家庭内で、あいさつができていないのではないか。
次年度に向けての改善方法に対する意見	・学力の向上に取り組んでいることは評価できる。また、「自学ノート」において子供たちにどれだけの内容と支援を行っているのか検証して取り組んでほしい。	・SNSなどスマホの使い方が大変気になる。情報モラル教育を低学年からきちんと行い、正しい使い方を学んでいってほしい。	・体力向上を目指しできることをやっていってもらいたい。 ・早寝早起き朝ごはんの声掛けが今後も必要ではないか。	・今後も積極的な情報発信に努め、より多くの方々に関心を持ってもらいたい。 ・活気ある学校を希望します。 ・秋祭りは学校、育友会、地域が一緒になるいい機会であった。

3 その他のご意見

・私たち学校運営協議会や地域見守り隊に活力を与えてくれた。このことから、積極的な応援や働きかけ、校区内の安全性をさらに充実させると共に、PTA活動や地域の避難訓練等にも積極的に関わり、たくさんの方々に知ってもらえるような働きかけをしていきたい。
・幼・保・小・中学校の異校種間交流や縦割り活動に重点を置く取り組みは、今の子供たちの関わり合いの薄さをカバーする意味でも推進していってほしい。
・学校を中心に地域がまとまり、理解できる関係になっていけたらと思う。
・学校全体においてたいへん落ち着いた環境で学習ができていると思う。全国学力調査の結果が全てではないが、基礎学力を伸ばしていってほしい。
・災害時に避難所となった場合のシュミレーションをして、備えてほしい。
・欠席者数が多いことに関して、病気欠席もあるが、最近では家事都合欠席が多くなっていることに価値観の多様化を感じた。
・不登校児童が少ないのはいいことですね。
・本来あるべき定数の先生が不在になるということは子供たちにとって不利益ですね。教育目標実現のためには、人的支援の充実が欠かせないし、いろいろな個性を持った子供たちが互いに関係しあう中で学び合うという公立学校の良さを生かしていくためには、さらなる先生の質・量の充実をお願いしたい。
・流行に流されることなく、目の前の子供の実態をしっかり見つめ、適切な支援をお願いしたい。